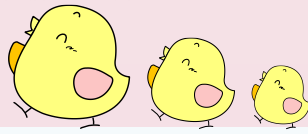


ひよこ新聞



2024年度
vol.2



鳥取市立病院
Tottori City Hospital

発行者：看護局
発行日：令和6年8月9日

プリセプティ研修の様子をお伝えします 🐣

入職して5ヶ月が経ちました。新人看護師たちは月1回の集合研修で基本的知識、技術を学び、実践の場で経験を重ねています。少しずつ自分でできることが増え、自信に繋がっています。

【5月研修】吸引・酸素吸入、膀胱留置カテーテル、安全管理(与薬)、フィジカルアセスメント、12誘導心電図 他

5月は基礎的な看護技術の研修を行いました。知識を再学習し、実践することで学びを深めることができました。



吸引



生体モニター



安全管理(与薬)

感想 🐣

- 吸引や導尿などの手技だけでなく、吸引の装置の設置方法も教えていただいたので病棟で吸引が必要な時はすぐに準備でき活かせる研修になった
- 12誘導心電図や輸液ポンプ、シリンジポンプなどまだ使用したことがない機器の使い方を体験でき、ポイントをおさえることができた

【6月研修】他部門の役割、連携を学ぶ

薬剤部、中央検査部、中央放射線部、リハビリテーション部などの研修と、防災訓練を実施しました。それぞれの部門で業務内容や看護に活かせるポイント・注意点などの説明を受けました。皆が熱心に担当者の話に耳を傾け、安全な看護・医療を提供するために他部門との連携が重要な事を学びました。



薬剤部



中央検査部



リハビリテーション部

感想 🐣

- 他部門を見学したりお話を聞いたことで、看護師としての役割を再確認できた
- その人らしい生活を支えるためには他職種の連携、サポートが欠かせないと改めて感じた

【7月研修】フィジカルアセスメント（患者さんの異常に気づく）

患者さんの変化に気づき、その根拠となる観察力とアセスメント能力を学習しました。認定看護師(特定行為研修修了者)の指導のもと、看護の場を再現してケアを経験しました。その経験を振り返って共有し、学びを深めました。



感想 🐣

- 患者さんの訴えに対してどのような観察が必要でどのような原因が考えられるのか、シミュレーションを行った。研修は難しく感じたが、同グループの人の意見や先輩看護師のアドバイスで理解に繋げることができた